

2004年7月15日

建設情報化ソリューション「e-CYDEEN」 CALS/EC 全般に対応

工事積算他5システムに続き、施工管理、数量計算システムの販売を開始

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：堀越 彌、本社：東京都渋谷区）は、建設情報化ソリューション「e-CYDEEN（イーサイディーン）」の機能強化を図り、国土交通省と各自治体が推進中の「CALS/EC（注1）」全般に対応する品揃えを強化いたしました。具体的な強化点は、次の通りです。

- ・「工事積算」他5システムに続き、「施工管理」、「数量計算」の販売を開始
- ・各システム間のスムーズな連携により、公共事業のライフサイクル（注2）全般サポートを実現
- ・システム構築後の運用管理向けサービスメニュー「MSP（注3）for e-CYDEEN」の展開

当社では、CALS/ECの実現サポートを目的に、インターネットを活用したオープンプラットフォームによる建設情報化ソリューション「e-CYDEEN」シリーズを、公共団体（官公庁・自治体）の建設部門（注4）向けに昨年より販売開始しました。現在、「工事積算」をはじめとする「e-CYDEEN」の各システム（注5）を、約200の公共団体に販売しています。

現在、e-JAPAN戦略と並行して進められているCALS/ECは、「計画/設計」「入札/契約」「施工管理」「維持管理」の4フェーズから構成されています。今回、「e-CYDEEN」のラインナップに「施工管理」、「数量計算」を加え、「e-CYDEEN」は、CALS/ECの4フェーズに対応する主要システムが揃いました。また、複雑かつ巨大化しているCALS/ECシステムの運用管理に対応するため、当社のデータセンタを活用した運用管理サービス「MSP for e-CYDEEN」も、あわせて提供いたします。

当社では公共事業のライフサイクル全般をサポートする総合サービスの提供をめざし、「e-CYDEEN」シリーズを通じて、CALS/ECを積極推進する公共団体のお客様に、最適な提案をまいります。

- （注1） CALS/EC（公共事業支援統合情報システム）：公共事業の各段階で発生する図面・地図や書類、写真等の各種情報を電子化し、ネットワークを活用して関係者及び各段階間で情報を交換・共有・連携できる環境を構築し、公共事業のコスト削減等を図る取り組み。
- （注2） 公共事業のライフサイクル：公共事業は、その事業の計画から始まり積算、入札、契約、施工といった各段階を経て維持管理に至ります。維持管理はまた新たな事業の計画につながります。この一連の流れを公共事業のライフサイクルと呼んでいます。
- （注3） MSP（Management Services Provider）：サーバやネットワーク等の情報処理・通信設備の運用・監視・保守サービスをおこなう事業者。
- （注4） 公共団体の建設部門：土木を始め上下水道・港湾・建築・電気・機械設備などの公共工事を担当する部門。
- （注5） 「e-CYDEEN」の各システム：前身の「CYDEENシリーズ」を含め、「工事積算」「調達情報提供」「電子入札支援」「工事成績評価」「施設情報管理」の商品を提供してきました。

1. 「e-CYDEEN / 施工管理」「e-CYDEEN / 数量計算」の概要

(1) 「e-CYDEEN/施工管理」

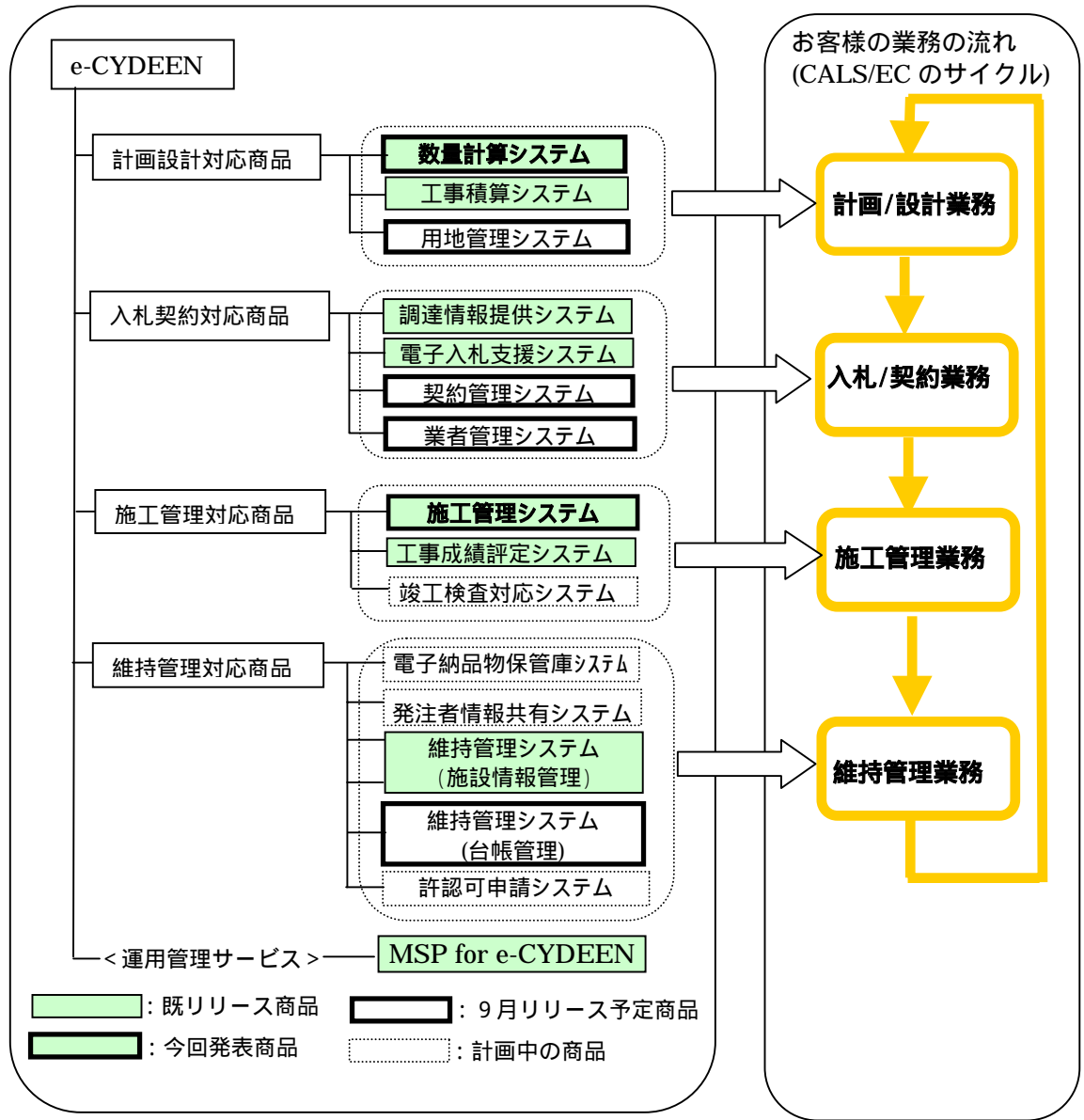
インターネットにより、公共工事の関係者が工事施工時の情報を登録・参照するシステムです。受発注者双方が効率良く情報共有できるとともに、電子納品物作成作業の負荷軽減を図ることができます。

(2) 「e-CYDEEN/数量計算」

工事積算のための設計数量を、基礎情報の入力とCADシステムの情報から、自動算出するシステムです。自動算出された設計数量はそのまま工事積算システムの入力となり、積算業務の大幅な効率アップを実現します。対応する工事は、上水道、下水道の2種類です。

（「e-CYDEEN/数量計算」は、下水道展'04 横浜（主催：（社）日本下水道協会、期間：7/27～7/30、場所：パシフィコ横浜）にて展示いたします）

2. 「e-CYDEEN」シリーズのラインナップ



3. 「e-CYDEEN」シリーズの展開

現在、政府が推進する e-JAPAN 戦略 と並行して、国土交通省と各自治体では CALS/EC を積極的に推進しています。この取り組みにより電子調達をはじめ各業務の IT 利用が進み、今後はそれらのシステム間の連携が重要になってくるものと思われます。

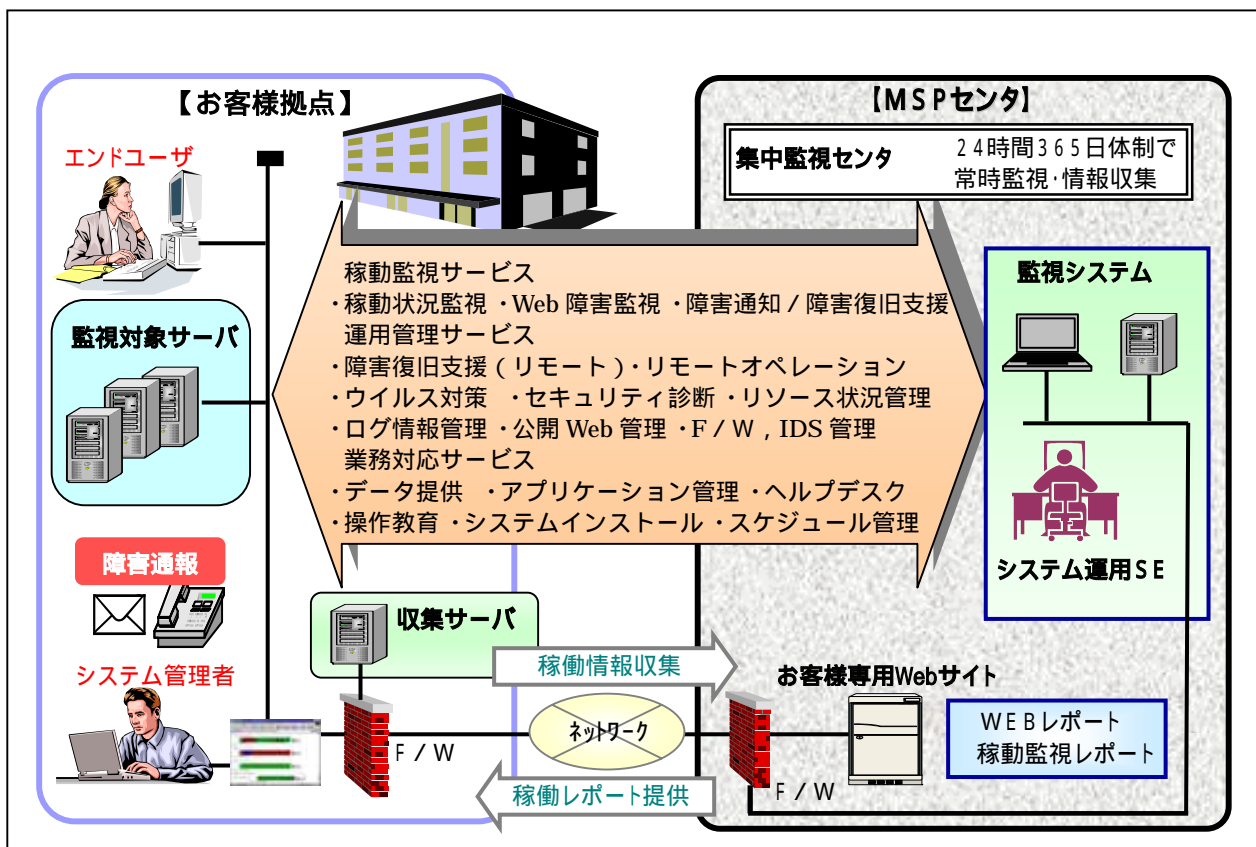
今回発表する 2 商品をラインナップに加え、「e-CYDEEN」は CALS/EC に対応した主要システムを揃えることができました。これにより、総合的に公共事業のライフサイクルサポートを実施するサービスメニューの品揃えが整いました。

また、CALS/EC に対応するシステムは複雑かつ巨大化しており、システム構築後の運用管理がより一層重要となってきます。「e-CYDEEN」では、アプリケーションとともに、システム構築後の運用管理サ

ービス「MSP for e-CYDEEN（注6）」を提供します。このサービスは、セキュリティー/リソース管理サービス、積算標準基準等のデータ提供サービス、アプリケーション管理サービス、ヘルプデスクサービスなどで構成され、当社が保有するデータセンタと長年の運用実績を生かし充実した内容となっています。また、データセンタからのサービス提供に加え、オンサイト型のMSPサービスも提供いたします。

「e-CYDEEN」シリーズは2003年の提供開始時より、Web、Javaをベース技術としてきました。その後、XML、EAI（エンタープライズアプリケーション統合）、OSS（オープンソースソフトウェア）といった最新技術と動向を積極的に取り入れてシステム開発を進めています。今回は「e-CYDEEN/施工管理」「e-CYDEEN/数量計算」の2商品の販売を開始しますが、引き続き「e-CYDEEN/契約管理」等の新商品のリリースを9月に予定しており、より充実したCALC/ECの総合サービス提供に注力してまいります。

（注6）「MSP for e-CYDEEN」のサービスイメージ



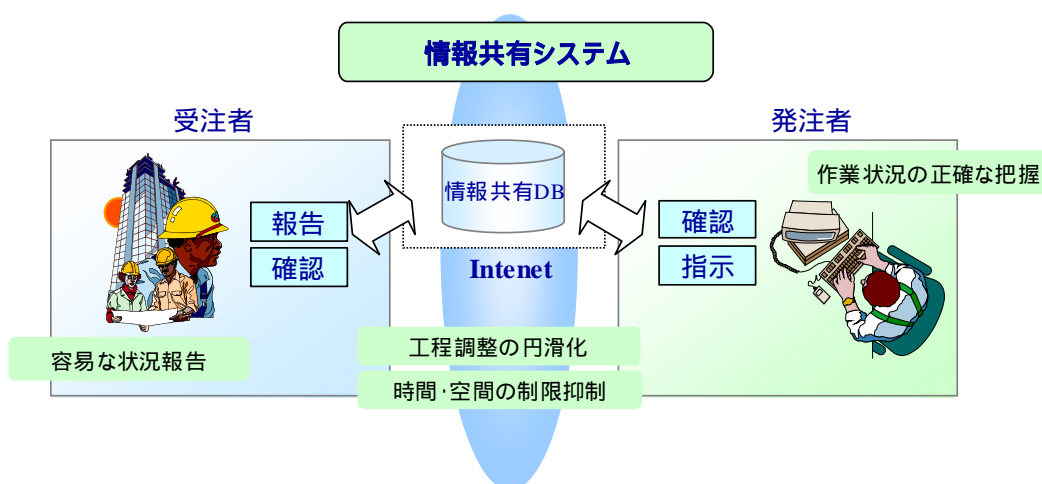
4. 「e-CYDEEN/施工管理」の特長

インターネットを利用して、公共工事の関係者が工事施工時の情報を登録・参照するシステムです。本システムの利用により、受発注者双方が効率良く情報共有できるとともに、日常の施工業務のなかで電子納品の準備を行うことが可能となり電子納品物作成作業の負荷軽減が図れます。なおシステムの提供は、公共団体の自己導入型、当社のASPサービス利用型の2種類を用意いたしました。

- (1) 工事施工時の情報共有の基本機能（「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能案件(案)」JACIC 工事情報共有データ検討WG 準拠）をまとめて提供します。
- (2) 共有する情報は、工事関係者なら誰もが登録・閲覧できる一般情報と、受発注者間に渡る承認者の承認を得て登録できる承認情報に区別して扱います。承認を得て登録した情報が電子納品情報なら電子納品物管理情報とともに保管します。

- (3) セキュリティーは SSL により確保しますが更に強固なセキュリティを確保するため、オプションとしてファイル毎に利用者と利用者権限を指定して暗号化する機能(注7)を用意いたしました。これにより、万一のファイル外部流出に対処できます。
- (4) ワークフローは上記基本機能に準拠したシンプルな形とし、施工現場での使いやすさを追求しました。
- (5) 多くの案件を同時に担当する発注者様向けには、予定、実績を簡単に管理できる簡易プロジェクト管理機能があります。担当する工事一覧の確認と各工事の進捗把握が、わずかな操作でできます。
- (6) 重要な連絡はメール発信も同時におこないます。常にシステムをオープンしていなくても重要な連絡を見落とすことはありません。
- (7) システム構築またはサービス開始にあたり、必要となる工事関係者の登録、雛型文書の登録、管理情報フォルダー体系作成等のきめ細かい支援サービスを提供します。

(注7) 暗号化する機能：日立情報では、優れた技術・サービスを所有するベンチャー企業と連携して、お客様にとって最適なソリューションの提供をめざす事業「E-mind」を展開しており、現在、ベンチャー企業約70社と協業して数多くの受注案件を獲得しています。この機能は「E-mind」パートナー企業であるイージーシステムズジャパン(株)様の製品である「ezFile Security2」を活用します。暗号化と同時に設定できる利用者権限とは、印刷、編集、保存、利用期間、利用回数です。

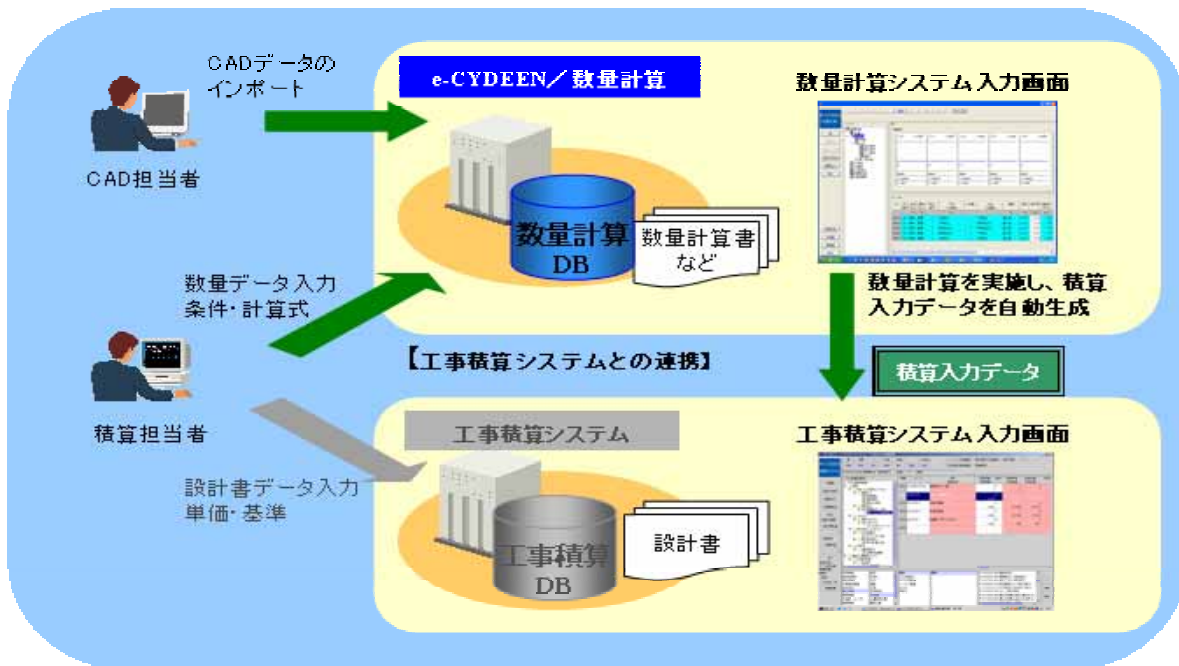


5. 「e-CYDEEN/数量計算」の特長

公共工事における工事積算のための設計数量算出および設計書作成作業を支援するシステムです。建設分野における CAD データ交換の標準化が実用段階に入っておりますが、本システムの利用により、CAD システムから情報を受け取り、数量計算・積算データへの自動展開が可能となります。CAD システムと「e-CYDEEN/数量計算」および「e-CYDEEN/工事積算」の連携により、積算業務の大幅な効率アップを実現します。現在対応する工事は上水道、下水道の2種類です。

- (1) 本システムでは、基礎情報として基本数量（延長、掘削深、掘削幅 等）と、施工条件（土質、使用重機の種類 等）を入力することで自動的に数量を計算します。基本数量は CAD システムから取り込み可能です。
- (2) 対応する数量計算項目は、工期計算、土量計算、材料集計、矢板損料、舗装復旧と多種にわたり、高い自動化率を確保しています。
- (3) 特に、上水道、下水道などのパターン化された工事については入力画面に平面図（上水道）、縦断面図（下水道）などを採用しているため、設計条件の確認をしながら操作することができます。
- (4) CAD データの取り込みは SXF 仕様又は CSV ファイルにておこないます。
CSV ファイルもサポートしますので原則 CAD システムの種類は選びません。

- (5) 国土交通省の新土木工事積算体系に準拠した設計書が自動生成できます。また、土木工事数量集計様式に準拠した数量計算書の出力が可能です。
- (6) 数量計算の算出方法、計算式、計算書書式はXMLを活用した定義であり自由に変更可能であり、お客様の細かなご要望に柔軟に対応できるようにいたしました。



6. 販売価格・販売目標

- (1) 販売価格
- ・「e-CYDEEN/施工管理」 基本システム 200万円～
 - ・「e-CYDEEN/施工管理」 ASP サービス 3万円 / 1工事・1カ月～
 - ・「e-CYDEEN/数量計算」 基本システム 200万円～
- (2) 販売目標
- 2008年まで（今後5年間）で、600システム、100億円の受注を目標
（ハード、ソフト、運用、保守費用を含む）

7. 問い合わせ先

【商品に関する問い合わせ】

商品問合せセンタ FainDesk（ファインデスク）
 TEL 0120-346-401（フリーダイヤル）受付時間 9：00～18：00（土・日・祝日は除く）
 FAX 03-3770-5712 e-mail faindesk.p@hitachijoho.com

【発表に関する問い合わせ】

社長室広報・IRグループ 松林（〒150-8540 東京都渋谷区道玄坂 1-16-5）
 TEL 03-3464-5073 FAX 03-3496-5684

以上

「e-CYDEEN」の商品紹介ホームページ

<http://www.hitachijoho.com/solution/cydeen/>